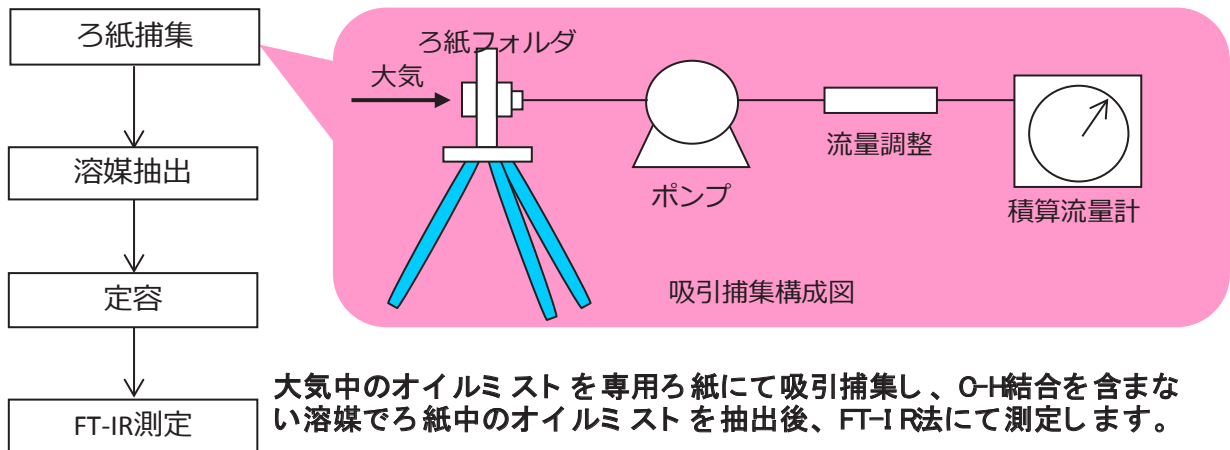


大気中オイルミストの分析

オイルミストとは、油分が加工等によって飛び散る微粒子及び加工熱によって発生する油煙等の総称です。作業によって用いられる油種には潤滑油、切削油、洗浄油等様々あり、オイルミストとしても種類が多数存在します。オイルミストの指針値は、日本産業衛生学会（2013）において 3 mg/m^3 、ACGI H（2010）において 5 mg/m^3 （TWA）が掲げられています。また、分析方法としては、NI OSH 5026（鉛物油ミスト（ $\text{C}_n\text{H}_{2n+2}$ 、 $n \geq 16$ ））において、ろ紙捕集-溶媒抽出-FT-IR法が紹介されています。

NSST広畑事業所では、大気中のオイルミストをろ紙捕集-溶媒抽出-FT-IR法により測定しています。

大気中オイルミストの分析フロー



*... 当社では油分の標準物質としてOCB標準物質（イソオクタン、ヘキサデカン、ベンゼン混合標準）を用い、鉛油の定量分析を行います。

測定状況

